

令和6年度 中島小学校 学校経営の全体構想

学校課題

- ・真面目で素直な児童が多く、落ち着いた学校生活を送っている。
- ・「あいさつ」「そうじ」「授業」「ボランティア」を中心に、自分たちの学校生活をよりよくしようという気持ちで、諸活動に取り組んでいる。
- ・自ら課題をもち、主体的に学ぼうとする意欲、困難に直面しても粘り強く取り組むたくましさや柔軟に対応するしなやかさに課題がある。
- ・地域は、伝統を重んじる気風があり安定している。学校の教育活動に対する理解もある。一方で、価値観や生活環境の多様化もあり、保護者や地域と、より深い意思疎通をした上での教育活動の展開が必要である。

市の方針と重点

【方針】◇学校の教育目標の具現に徹する学校経営をする。

- ◇全ての子どもたちが、自己の力を最大限発揮して、学ぶ意義や喜びを実感する。
- ◇地域との関わりを大切にした「子どもが主役となる」活動を実施する。
- ◇いじめや問題行動の未然防止・早期発見に努め、早期対応を徹底する。
- ◇不登校傾向のある児童生徒への早期対応や、学校復帰・社会的自立に向けた支援や働きかけを充実する。

【重点】①子どもたちが安全で安心して学ぶことのできる学校の環境づくり

②地域と家庭、学校が一体となって「生きる力」を育む教育の推進

【中島中学校区小中一貫教育目標】 夢や目標をもってたくましく歩み、地域を愛し、地域社会に貢献できる児童生徒

【学校の教育目標】 **夢に向かって 歩み続ける 中島の子**

中島小学校の「自慢づくり」 心のクローバー

心をつなぐ「あいさつ」 心をみがく「そうじ」 心を交わす「授業」 心を温める「ボランティア」

【令和6年度テーマ】 人と人のかかわり合いを通して、児童にたくましさとしなやかさを育む学校

経営の重点と具体的教育活動

学び合い きたえ合い（学力と体）

■自ら考え判断し、
学びに向かう子を育てる
確かな学力を身に付ける授業づくり
楽しみながら体力向上を図る取組の推進

- ・主題研の算数を中心に、児童が問題を見い出して解決策を考えたり、互いの見方・考え方から学び合ったりする「主体的・対話的で深い学び」のある授業づくりをする。
- ・「わかった」「できた」が実感できる授業づくりをする。
- ・効果的なICT活用と同時に情報モラル教育の充実を図る。
⇒「学習内容を理解している」児童90%以上
- ・「チャレンジスポーツ in ぎふ」に取り組む、体力向上を図る。
⇒「チャレンジスポーツ in ぎふ」への登録

思いやり（心）

■一人一人の違いを認め合い、
思いやる子を育てる
望ましい人間関係を築き、
自己指導能力を身に付ける

- ・児童の委員会活動により、「心のクローバー」の取組を推進する。
⇒「自慢づくりに取り組んでいる」児童90%以上
- ・児童の自己有用感を育むため、一人一人のよさや頑張りを認め合う活動に全校で取り組む。
- ・児童が自己をみつめ、自ら判断し、行動に責任をもてるような支援を行う。
- ・人と人のかかわり合いを意図的に仕組み、築き上げた望ましい人間関係から味わう喜びや感動を実感させ、社会性の基礎を築く。
⇒「学校に行くのが楽しい」児童90%以上

地域とともに歩む（地域）

■地域から学び、
自ら発信する子を育てる
家庭や地域とともに児童を育てる
教育活動の推進

- ・ふるさとの人や自然、文化に触れる体験活動を充実し、「ふるさと中島」への誇りと愛着を育む。
- ・生活科及び総合的な学習の時間を中心に、地域人材を積極的に活用し、探究的な学習を充実する。
- ・学んだことを、児童から家庭や地域に発信する活動を位置づける。
- ・すぐーるやブログを活用して積極的に学校の情報を発信し、情報を共有する。
⇒各教育活動への地域住民や保護者のボランティアによる協力

■たくましさとしなやかさ育む 教職員「チーム中島小」

- ・一人一人の個性を認める姿勢
- ・丁寧な見届け
- ・こまめな「報告」「連絡」「相談」
- 声をかけ合い、よさを生かし合い、高め合う

- 命と安全を守る：安全を第一とした教育活動の展開と命を守りきる適切な対応を行う。
- 周りを笑顔にする：相手の気持ちを思いやり、相手のよさを見つけ、相手によさを伝える。
- 学び合い高め合う：互いの実践や強みを学び合い、指導力を高め合う。
- 業務改善に貢献する：課題意識と改善策をもち、働きがいのある職場づくりに貢献する。
- 信用信頼を守る：健全な同僚性を醸成し、「不祥事をしない・させない」職場にする。